

甲府市議会だより

職員の給与条例に関する議案など
市長提案31案件を可決・承認・同意

12月定例会

第172号

平成24年1月24日

編集・発行 甲府市議会だより編集委員会

電話 055(235)7054 FAX 055(227)5126

Email: gikai@city.kofu.yamanashi.jp

甲府市議会



成人式（総合市民会館 平成24年1月8日撮影）

主な内容・ページ

- ・ 要旨/主な質問項目.....2
- ・ 市政質問.....3～7
- ・ 審議結果.....8
- ・ 日程/請願審査結果.....9
- ・ 採択された請願/12月定例会からの取り組み.....10
- ・ 常任委員会行政視察の状況.....11
- ・ 本会議場の案内.....12

今年もよろしく
お願い申し上げます



平成24年
甲府市議会

十二月定例会要旨

十二月定例会は、十一月三十日に招集され、会期を十二月十五日までの十六日間と定めました。

初日の本会議では、まず、市長から専決処分についてなど、三十一議案の提案理由の説明が行われました。

次に、一般職員等の給与条例に関する二条例案件と四予算案件について、質疑の後、総務委員会及び民生文教委員会に付託し、休憩中、二常任委員会を開催しました。

休憩後、再度本会議にて、各常任委員長から審査の経過と結果が報告され、反対・賛成討論の後、採決の結果、いずれも当局原案のとおり可決しました。

八日、九日及び十二日の三日間は、議案に対する質疑及び市政一般質問が行われ、市の考え方をたしました。

十三日に行われた各常任委員会では、付託された議案及び請願について慎重に審査を行いました。

十五日の本会議では、各常任委員長から審査の経過と結果が報告され、採決の結果、いずれも当局原案のとおり可決・承認・同意しました。

最後に各常任委員長からの閉会中継続審査及び調査の申出について決定し、十二月定例会を閉会しました。

平成23年12月定例会主な質問項目

氏名	発言の種類 (方式)	主な質問項目
兵道顕司	代表質問 (二問一答)	・森林を活用した環境教育の推進について ・子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、小児用肺炎球菌ワクチンの公費負担制度について ・リニア中央新幹線中間駅の設置場所決定について
石原剛	代表質問 (二括)	・TPPについて ・子どもの医療費無料化の年齢拡大について ・本市独自の放射線量測定について
大塚義久	代表質問 (二括)	・愛され、信頼される市役所づくりについて ・農業振興について ・暴力団排除条例について
金丸三郎	代表質問 (二問一答)	・リニア駅を活用した将来構想について ・空き家管理条例制定への提言について ・防犯灯の一斉LED化提言について
中村明彦	一般質問 (二括)	・つつじが崎霊園第三地区の改善、整備について ・AEDについて ・震災対策について
鈴木篤	一般質問 (二括)	・新庁舎へのLED照明器具の導入について ・甲府市の危機管理体制について ・障害者のスポーツ振興について
長沼達彦	一般質問 (二問一答)	・ユニバーサルデザインの推進・普及について ・遊亀公園附属動物園について ・自転車安全通行について
山中和男	一般質問 (二問一答)	・甲府市の魅力創出について ・市民マラソンの開催について ・健康診断の受診率について
山田厚	一般質問 (二問一答)	・放射能汚染に対する安全・安心の対策について ・防災機能を高める避難所の整備と機能の充実について ・災害への対応が可能な契約内容の改善について
神山玄太	一般質問 (二括)	・リニア時代のまちづくりについて ・議案第九十九号について ・市立甲府病院について

甲府市議会インターネット情報

☆市議会に関する情報、会議録検索システム、議会だよりは、甲府市のホームページから見ることができます。
URL : <http://www.city.kofu.yamanashi.jp/shise/gikai/index.html>
(メニュー:「市議会」からお入りください。)

☆甲府市議会に関するご意見、ご質問はこちらをお願いします。gikai@city.kofu.yamanashi

モバイル



市政質問

(要旨掲載)

リニア中央新幹線中間駅の設置場所決定について

公明党

兵道 顕司



質問

先般、リニアの中間駅の設置場所が天津町地内に決定し、いよいよリニアを活用した今後のまちづくりについて、知恵を絞って行く段階に入ったところです。

こうしたまちづくりを総合的に進めるための所管課を設置して、具体的な検討に入るべきだと考えますが、当局の考えをお示しく下さい。また、外からの人の流れを呼び

込むためには、本市の資源のみならず、周辺の自治体とも連携し、その資源も活かしながら進めることが効果的であると考えます。

こうした広域的な連携協力によるリニア中央新幹線を活かしたまちづくりを進めることについて、所見を伺います。

答弁

本年十一月には、「リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会」の中に、「リニア活用策検討部会」が設置されたところであり、今後、リニア中央新幹線を十分に活用し、本県を活性化していくための協議を進めることとしています。

本市といたしましては、リニア開業の効果を最大限に活かした甲府市のまちづくりに向け、全庁をあげて、スピード感を持って積極果敢に取り組んでいかなければならないと考えています。

こうしたことから、本市として予想される課題や対応すべき業務の把握に努めながら、部局横断的な協力体制を強化するとともに、十分な庁内の連携が図れる、総合調整機能も有する新たな組織体制の整備を進めていきます。

本市独自の放射線量測定について

日本共産党

石原 剛



質問

本市の放射線量の測定について、初回の結果は、「健康に影響が出るレベルの数値ではない」とのことではありましたが、放射線は目に見えないものであり、市民の不安は依然として強いものがあります。

また、今回測定が行われなかった小中学校などもあります。

今回実施された二十か所にとどまらず、すべての小中学校、保育所、公園、ちびっこ広場、人が多く集まる場所などについても、測定を行うべきと考えますが、考えをお示しく下さい。

また、市民から「どこどこを測定

してほしい」という要望があった場合、それに応える考えはあるのでしょうか。見解を伺います。

答弁

市内の放射線量については、これまで県が実施した測定結果や文部科学省による放射性物質に関する航空機モニタリングの結果において、いずれも、健康に影響が出るレベルではないことが公表されております。

本市が十一月から行っている測定結果についても、原発事故前の市内の通常値のほぼ範囲内であったことから、当分の間は、この二十か所での調査を定期的に行っていくこととしますが、県のモニタリングポストや市の測定結果に異常値が確認された場合には、調査箇所を拡大していく予定であります。

また、市民から今回の調査箇所以外の公共的な施設について、測定要望があった場合には、施設の管理者等と協議し、随時、対応することとしますが、個人的な測定要望については、その内容を詳細にお聴きする中で、適切に対応していきます。



農業振興について

政友クラブ

大塚 義久



質問

本市農業がより活性化し、持続的な展開をしていくためには、今後どのような支援をすべきかが重要となる訳で、現在、主要施策として取り組まれている「担い手の育成確保」、「耕作放棄地対策」、「鳥獣被害対策」、「地産地消の推進」等、いずれの施策の推進にも農道や用水路など農業生産基盤の整備こそが根本となる必須要素だと思います。

これにより、農地の耕作に対する利便性や土地生産性が向上し、それは担い手の耕作意欲の向上にも繋がり、結果、耕作放棄地や遊休農地の発生が防止され、優良農地の確保、保全が図られるなど、施策実現への

重要なファクターとなります。

本市農業の将来を見据える中で、農業生産基盤整備の充実こそ必要不可欠だと考えます。基盤整備をどのように位置づけているのか、見解を伺います。

答弁

本市の農業は、都市化の進展や、農業者の高齢化による担い手の減少等、厳しい状況にあります。が、「甲府農業振興地域整備計画」を基本として、活力ある地域農業を維持、発展させるため、優良農地の確保とともに、農道などの基盤整備に計画的に取り組んでいるところであります。

こうしたことから、農道整備については、平成二十三年八月現在で千四百八路線、総延長三十一万一千メートル余の内、二十万一千メートル余が完了しているところでありますが、今後も優良農地の確保とともに、農道などについては必要性、緊急性、効果等を勘案し、関係者のご理解とご協力を得る中で計画的な整備に努めていきたいと考えています。



リニア駅を活用した将来構想について

新政クラブ

金丸 三郎



質問

リニア中央新幹線の間駅が大津町周辺に予定される中で、駅の建設費は、全額JR東海が負担することを表明しており、運行ダイヤについては、一時間に一本程度が期待されていますが、現実には一日に二〜三本となるおそれもあります。

また、東日本大震災以降、首都機能の移転といった考えが話題となっていますが、リニア中央新幹線を活用することで、山梨県への首都機能の一部移転も考えられるはずです。

こうした状況を受け、どうすれば最大限甲府市としてリニア中央新幹線の活用ができるのかについて、見

解をお示しください。

答弁

山梨県全体の発展にどのように結びつけていくのか、今後、具体的にしなければならぬほど、JR東海と協議していくことになると思います。高速交通網の新駅をつくったけれども、一日に二回か三回しか停車しないのであれば、山梨へ来ていただく方々のことも考えて、少なくとも一時間に一本くらいは停車していただきたいと思っています。

また、東海道新幹線が開通してから、余りにも長い時間が経過しています。このため、経年劣化もひどいのですが、夜間だけしか修繕ができないので、その代替路線としての機能も含んでいると聞いております。

中間駅にしっかりと停車いただくように、また、停車するだけの魅力のある山梨県、甲府市にしていく必要があると考えています。



つつじが崎霊園第三地区の改善、整備について

公明党

中村 明彦



質問

つつじが崎霊園第三地区八百三十二区画は、山の傾斜地にあることから中央付近にある二百二十六段の階段は、傾斜もきつく高齢者にとってはとても大変な区画であります。

また、高齢者はもちろんですが、車椅子を利用している人は、周りの人や家族のことを考えると墓参りに行きたくても行けない状況ではないでしょうか。

霊園全区画が完成して以来、四十年が経ちました。墓地完成当時は、二十代、三十代

で墓地使用者になられた方も現在では、六十代、七十代と高齢になってきています。第三地区に隣接する市有地を使用者の皆様が楽に墓参りができるような有効活用していただき、特に第三地区については、現在のトイレ休憩所等も含めて、改良整備について、お示しください。

答弁

つつじが崎霊園は、昭和三十年に墓地造成に着手し、現在は二千九十八区画を有する宗派・宗教を問わず利用できる霊園として、市民の皆様幅広くご利用いただいている状況であります。

霊園の整備については、特に第三区墓地は駐車場から遠いことから昨年度には七台分の駐車スペースを増設しました。

さらに今年度は、第二区墓地区内に排水施設を整備するなど霊園全域の利便性や安全性を考慮した改修整備を行っております。

今後は、隣接する市有地の活用方法をはじめ各施設が建設から長期間を経過しているため、年次的な整備を進め、一層の改善に努めていきます。



新庁舎へのLED照明器具の導入について

政友クラブ

鈴木 篤



質問

新庁舎建設基本計画策定期のLED照明器具は、製品性能に対する仕様基準が無く、「新庁舎建設に関する調査特別委員会」においても質疑の対象にはなりえませんでした。また、国内規格も決定し、現在では各社から信頼性のある製品が数多く出揃ってまいりました。

甲府市地球温暖化対策地域重点ビジョンによると今後、甲府市として温室効果ガスの削減量を一九九〇年比で二十五%削減しようとする計画を実行していくためには、新庁舎から排出される温室効果ガスについても抑制していかなければなりません。

ん。

新庁舎は旧庁舎の一・七倍の大きさになりますから、CO₂排出量の少ないLED照明器具の導入は有効な選択肢であると考えています。

既に建設中の新庁舎ではありますが、LED照明器具の導入は将来における維持管理費の軽減、温室効果ガス削減等を総合的に判断しても優位ではないかと思えます。ご所見をお示しください。

答弁

新庁舎建設については、消費電力を削減し、ライフサイクルCO₂の排出量を約三十%抑制する計画としています。

また、LED照明器具については、実施設計では、点灯時間が長く自然採光が得られない廊下、点灯消灯の頻度が多いトイレなどにLEDダウンライトを採用することとしました。

全館へのLED照明器具導入については、コストやCO₂排出量の抑制効果に加え、環境教育や環境保全などの施策の推進の面からも実現していきたいと考えています。



ユニバーサルデザイン
の推進・普及について

政友クラブ

長沼 達彦



質問

本年多く使われた言葉に、
絆・節電・エコ・復興などの言葉が
ありますが、ユニバーサルデザイン
という言葉も次第に定着してきたよ
うに思います。

本市でも、新庁舎建設時に各種団
体からいただいた意見や提言をさら
に発展的に活用して、広く考えを普
及・定着させていくことが必要だと
考えますが、本市としてどのように
進めていくのかお伺いいたします。

答弁

障害の有無や年齢・性別等
にかかわらず、すべての人が利用し
やすい生活環境のデザイン、いわゆ
るユニバーサルデザインによる公共

施設や公共交通機関等の整備を促進
することは、大変重要なことと認識
しています。

今後は、これまでのバリアフリー
の取り組みを継承しながら、より広
範なユニバーサルデザインの理念に
基づく取り組みを進めていくことと
して、「わの都・こうふプロジェクト
2011～2014」にユニバ
ーサルデザイン推進事業を位置づけ
たところであります。

平成二十四年中を目途に、新たな
計画の策定を進めることとして、新
庁舎建設の計画策定にあたり、多く
の皆さんからのご意見やご提言の活
用をはじめとして、今後も関係団体
との協働を図りながら、ユニバーサ
ルデザインを定着させていくため、
これまでの取り組みの総括や推進体
制についての検討を進めていきま
す。

さらには、情報提供をはじめ、普
及啓発や人材育成、施設等の運営面
など、これまで以上にソフト面の充
実に向け、具体的な取り組みのため
のガイドラインや推進方策について
も検討を進めていきます。

甲府市の魅力創出につ
いて

新政クラブ

山中 和男



質問

甲府の歴史ある宝飾産業を
支えていくためにも、下部温泉にあ
ります湯之奥金山博物館で砂金取り
の体験ができるように、甲府市の水
原林でもあります北部地域にて、水
晶採掘の催しができることを望みま
すが、考えをお聞きます。

次に、甲府市の市民農園百十九区
画も一杯でいつ空きが出るのかわか
らない状況で、JA甲府市農協でも
市民農園事業を行っていますが、こ
ちらも一杯の状況です。

定年後の高齢者の方が農作業をさ
れることにより、健康を維持し、病
院にかかる頻度も軽減されることで

しょう。

甲府市南部地域及び北部地域に
は、耕作放棄地があり、まだ農地を
確保できる地域でもありますので、
どのような施策を展開していくの
か、お伺いいたします。

答弁

ご提案のありました、水源
林である北部地域の山での水晶採掘
の催し物の開催については、水晶採
掘場所が、自然公園法に規定する秩
父多摩甲斐国立公園内に位置するこ
とや、さらには、採掘権を規定する
鉱業法などの関連もあることから、
難しい状況にあると考えておりま
す。

次に、体験型農業については、体
験型余暇活動の一つとして農村や山
村などの自然や文化と親しむ農業体
験があります。

特に、自然に囲まれた中での農業
体験は、一番おいしい旬の物を自ら
収穫し、その場で食べるという楽し
みもあることから、最近では、特に都
市住民に人気があります。

今後、耕作放棄地を活用した市
民農園等の体験型農業については、
JAや地域関係者等と協議しなが
ら、進めていきます。

災害への対応が可能な契約内容への改善について

社会民主党

山田 厚



質問 甲府市では、既に多くの公的業務を指定管理者などに業務委託しております。災害が発生した際に、直営事業の正規職員だけが市民のため災害時に対応するのであれば、甲府市の防災力は落ちるばかりです。

防災は、甲府市の全ての部署から整備されるべきです。災害時にあっては甲府市のもつすべての力を最大限に活用しなければなりません。そのためには、公的事業を担っている委託業者や指定管理者とも災害時のしつかりとした連携を図るべきです。

公的事業の委託先との協定書、契約書、仕様書の内容を総点検し、災害時の対応を具体性、即応性のある内容に改定すべきと考えますが、当局のお考えをお示しく下さい。

答弁 現在、本市の多くの施設において指定管理者制度を導入するとともに、多種多様な施設管理等の業務を委託し、市民サービスの向上と効率化を図っており、特に、各部で締結している指定管理者との協定書等において施設を利用する市民の安全を確保することとしております。

しかしながら、公共施設には避難所として指定されている施設があり、またそれ以外の公共施設も災害時に一時避難所となることが充分考えられることから、その対応も必要であると考えます。

今後は、指定管理者等との、災害時における協力体制の強化に向け、他都市の状況を調査・研究する中で、本市の協定書等の内容について検討していきたいと考えています。



リニア時代のまちづくりについて

無所属

神山 玄太



質問 まちづくりにおいて、哲学や理念はその根底、根本にあります。

今後の本市の総合交通政策の議論において、これからも「車社会の甲府」を目指していくのであれば、リニア時代のまちづくりにおいて重点を置いて作らねばならないのは、モノレールでもLRTでも身延線の分岐延伸でもなく、利用しやすい道路網と駐車場であるはずですが、しかし、リニア時代の本市のまちづくりでもっと公共交通を充実させていくのであれば、「車社会の甲府」という考えを少しでも変えていかなければ、今でさえ車社会の甲府においては、車と公

共交通の共存は難しいと考えます。リニア時代における本市の目指すべき交通政策の考え方、哲学をお示しく下さい。

答弁 リニアの開業においては、甲府駅周辺とのアクセスはもとより、市内の観光スポットへのアクセスや、市民生活における移動の利便性の向上なども含めた新たな交通体系の構築など、本市の交通政策のあり方を改めて総合的に見直していかなければならないと考えています。

また、これからの交通を考える際には、過度な自家用車への依存から脱却し、市民や地域が主体的に公共交通を利用し、守り育てていくという意識を高めていく必要があります。

そのため、現在取り組んでいる「甲府市公共交通体系基本構想」には、目指すべき公共交通のあり方を示す中で、バス路線の見直しの必要性や利用促進に向けた取り組みも位置づけていきたいと考えています。

今後は、新たな組織体制のもと、リニア効果を最大限に活かすための総合的な交通体系の構築や、市民の利便性向上に向けた交通施策に取り組んでいきたいと考えています。

平成23年12月定例会 審議結果

番 号	件 名	付 託 委員会	議決月日	結 果	政 友 クラブ	新 政 クラブ	公明党	日 本 共産党	社 会 民主党	みんな の 党	無所属
議案第78号	専決処分について(平成23年度甲府市一般会計補正予算(第4号))	総 務	12月15日	承認 (全会一致(*2))	○	○	○	○	○	○	○
議案第79号	平成23年度甲府市一般会計補正予算(第5号)	〃	11月30日	原案可決 (賛成多数(*3))	○	○	○	×	×	×	○
議案第80号	平成23年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	民生文教	〃	〃	○	○	○	×	×	×	○
議案第81号	平成23年度甲府市交通災害共済事業特別会計補正予算(第1号)	総 務	〃	〃	○	○	○	×	×	×	○
議案第82号	平成23年度甲府市病院事業会計補正予算(第2号)	民生文教	〃	〃	○	○	○	×	×	×	○
議案第83号	平成23年度甲府市一般会計補正予算(第6号)	分割(*1)	12月15日	原案可決 (全会一致)	○	○	○	○	○	○	○
議案第84号	平成23年度甲府市国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	民生文教	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○
議案第85号	平成23年度甲府市病院事業会計補正予算(第3号)	〃	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○
議案第86号	平成23年度甲府市下水道事業会計補正予算(第1号)	環境水道	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○
議案第87号	甲府市職員給与条例等の一部を改正する条例制定について	総 務	11月30日	原案可決 (賛成多数(*3))	○	○	○	×	×	×	○
議案第88号	甲府市学校職員給与条例等の一部を改正する条例制定について	民生文教	〃	〃	○	○	○	×	×	×	○
議案第89号	甲府市総合計画審議会条例の一部を改正する条例制定について	総 務	12月15日	原案可決 (全会一致)	○	○	○	○	○	○	○
議案第90号	甲府市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○
議案第91号	甲府市市税条例等の一部を改正する条例制定について	〃	〃	原案可決 (賛成多数(*3))	○	○	○	×	○	○	○
議案第92号	甲府市印鑑条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	原案可決 (全会一致)	○	○	○	○	○	○	○
議案第93号	甲府市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○
議案第94号	甲府市障害者センター条例の一部を改正する条例制定について	民生文教	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○
議案第95号	甲府市災害用慰金の支給等に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○
議案第96号	甲府市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○
議案第97号	甲府市スポーツ振興審議会条例の一部を改正する条例制定について	〃	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○
議案第98号	甲府市市営住宅条例の一部を改正する条例制定について	経済建設	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○
議案第99号	甲府市廃棄物の減量化、資源化及び適正処理等に関する条例の一部を改正する条例制定について	環境水道	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○
議案第100号	財産の取得について(市営住宅の整備)	経済建設	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○
議案第101号	財産の取得について(市立小学校の整備)	民生文教	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○
議案第102号	指定管理者の指定について(甲府市地方卸売市場)	経済建設	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○
議案第103号	工事請負契約の締結について(防災行政用無線(デジタル同報系)設備更新工事)	総 務	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○
議案第104号	工事請負契約の締結について(防災行政用無線(デジタル移動系)設備更新他工事)	〃	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○
議案第105号	市道路線の認定について(甲府駅周辺土地区画整理5号線外10路線)	経済建設	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○
議案第106号	市道路線の廃止について(北口二丁目3号線)	〃	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○
議案第107号	訴えの提起について(市営住宅関係)	〃	〃	〃	○	○	○	○	○	○	○
議案第108号	公平委員会委員の選任について	総 務	〃	同 意	○	○	○	○	○	○	○

(*1) 分割 複数の常任委員会で、その所管する予算を審査すること。

※○賛成 ×反対

(*2) 出席議員が全員一致で賛成すること。

(*3) 起立採決により、賛成者数が、議事の成立要件(一般的な議案の場合は出席議員の過半数)を占めること。

十二月定例会日程

十一月 三十日(水)	開会、提案理由の説明、 総務・民生文教委員会付託、 総務・民生文教委員長報告
十二月一日(木)	議案調査のため休会
二日(金)	
三日(土)	休会
四日(日)	
五日(月)	
六日(火)	議事都合により休会
七日(水)	
八日(木)	
九日(金)	本会議、質疑及び市政一般質問
十日(土)	
十一日(日)	休会
十二月 十二日(月)	本会議、質疑及び市政一般質問、 常任委員会付託
十三日(火)	常任委員会
十四日(水)	議事都合により休会
十五日(木)	本会議、各常任委員長報告、 閉会

12月定例会請願審査結果

番号	件名	付託委員会	結果
第23-3号	環太平洋連携協定（TPP）への参加を行わないよう求める意見書採択を求める請願	総務	取り下げ（承認）
第23-10号	市立甲府病院の放射性医薬品過剰投与問題に関する請願	民生文教	採 択
第23-2号	TPP（環太平洋連携協定）への交渉参加阻止に関する請願	総務	継続審査
第23-5号	国に原子力政策の転換を求める請願	環境水道	〃
第23-6号	浜岡原発の永久停止と再生可能エネルギーへの転換、促進を求める意見書提出を求める請願	〃	〃
第23-7号	浜岡原子力発電所を廃炉にすることの意見書を求める請願	〃	〃
第23-8号	環太平洋連携協定（TPP）への参加を行わないよう求める意見書採択を求める請願	総務	〃
第23-9号	公的年金の削減に反対する意見書の提出を求める請願	〃	〃

議会用語 Q&A

Q. 請願・陳情とはどのようなものですか？

A. 請願・陳情とは、国民が国や地方団体に対して一定の希望を述べることであり、普通地方公共団体や議会に提出をします。

- 請願・・・請願書の提出には、議員の紹介が必要になります。
- 陳情・・・請願以外の住民の要望であり、陳情書、要望書、要請書、決議書及び嘆願書等の名称で提出されたものです。陳情には紹介議員は必要ありません。



市議会議員の寄附は禁止！有権者の寄附要求も禁止！

公職選挙法では、次のようなことが禁止されています。

- 議員や後援会が、寄附をしたり有料のあいさつ広告を出すこと。
- 議員や後援会が、お中元やお歳暮を贈ること。
- 議員が年賀状や暑中見舞いなどのあいさつ状を出すこと。（自筆の答礼は除く）
- 市民や団体が、議員に寄附などを求めること。



市民のみなさんのご理解とご協力をお願いします。

◆十二月定例会にて 採択された請願に ついて

○市立甲府病院の放射性医薬品過剰 投与問題に関する請願

この問題は、甲府市が設置する市立甲府病院に勤務する放射線技師が、独自の判断に基づいて、核医学検査の対象となった十五歳以下の患儿に対して、テクネチウム九十九mなどの放射性医薬品を、日本核医学会や日本放射線技師会などが推奨する基準値を超えて投与したことにより発生しました。

放射線の内部被曝による小児への影響を推測するデータは無く、今後の子どもの健康に対する心配は計りしれません。健康診断の結果、異常が見られる方も何人かいたにもかかわらず、現在の医学では因果関係が分からない等病院から不透明、不確定な説明をされてしまいます。このため、子どもの将来のことを思うと毎日不安な生活を過ごさざるを得ません。

甲府市は、今後の子どもの健康を最優先に考え、この問題について公

正性と透明性のある事故調査委員会を設置しこの問題の真相究明及び被害の実態調査を行いその報告を公開し、市立甲府病院に対し、再発防止策を迅速かつ適切に行うように指導していただきたいと思います。

つきましては、甲府市は左記の事項について、責任をもって市立甲府病院において実施されるよう請願いたします。

一 無料検査の実施

甲府市は、被害児童の放射線による影響・障害の有無を確認するために、年二回の精密検査を無料で受けられるよう、その費用を支出し、その実施状況を報告していただきます。

二 継続協議

甲府市は、真相究明、再発防止及び被害救済を実現するため、被害児童及び家族と継続的な協議をする場を設置していただきたい。

以上の内容の請願が、採択されました。

この採択により、次回三月定例会にて、その後の経過と結果について報告されます。

◆十二月定例会からの 取り組み

今期から議員全員で取り組んでいる新たな取り組みとして、十二月定例会初日から次のことをはじめました。

●開会前の議場に「甲府市の歌」をBGMとして流しました。

●議長の開会宣言前に、議員及び当局全員が起立し「市民憲章」を朗読しました。

人事案件

十二月定例会に、公平委員会委員の選任について、議会の同意が求められ、異議なく同意されました。

尾方 恵



常任委員会行政視察の状況

議会在閉会中でも、議案審査の参考にするため、調査活動を行っています。

総務委員会

○実施日

平成23年10月3日～5日

○視察場所（視察項目）

- ・大阪府高槻市
(中心市街地活性化について・交通バリアフリーについて)
- ・奈良県橿原市
(移動等の円滑化基本構想について・地震防災アクションプログラムについて)
- ・三重県津市
(地域防災対策について・まちづくりについて)



高槻市役所にて



四日市市役所にて

民生文教委員会

○実施日

平成23年10月12日～14日

○視察場所（視察項目）

- ・岡山県倉敷市
(国民文化祭について・倉敷美観地区について)
- ・三重県四日市市
(文化振興ビジョンについて・文化遺産を活かした観光振興、地域活性化に関する計画について・文化の駅について・四日市市立博物館について)



八尾市役所にて

経済建設委員会

○実施日

平成23年10月3日～5日

○視察場所（視察項目）

- ・大阪府岸和田市
(景観形成施策について・岸和田市ナビゲーションシステムについて)
- ・大阪府八尾市
(街づくり活動支援制度について)
- ・長野県松本市
(電気自動車を活用した新たな観光振興について)



明石市役所にて

環境水道委員会

○実施日

平成23年10月18日～20日

○視察場所（視察項目）

- ・兵庫県明石市
(ごみ分別マナーUPキャンペーンについて)
- ・三重県桑名市
(生ごみの堆肥化について・クルクル工房について)
- ・岐阜県多治見市
(日本一暑いまちの暑さ対策について・環境施策に係る基金条例と運用等について)

本 会 議 場 の 案 内

傍 聴 席



山田 厚
社会民主党



石原 剛
日本共産党



野中一 二
新政クラブ



桜井正富
新政クラブ



金丸三郎
新政クラブ



清水 保
政友クラブ



斉藤憲二
政友クラブ



森沢幸夫
政友クラブ



内藤司朗
日本共産党



兵道顕司
公明党



興石 修
新政クラブ



清水 仁
新政クラブ



原田洋二
政友クラブ



池谷陸雄
政友クラブ



荻原隆宏
政友クラブ



佐藤茂樹
政友クラブ



清水英知
日本共産党



中村明彦
公明党



植田年美
公明党



山中和男
新政クラブ



岡 政吉
政友クラブ



鈴木 篤
政友クラブ



廣瀬集一
政友クラブ



大塚義久
政友クラブ



神山玄太
無所属



山田弘之
無所属



長沢達也
公明党



佐野弘仁
公明党



飯島正樹
みんなの党



石原秀一
政友クラブ



長沼達彦
政友クラブ



坂本信康
政友クラブ

発言台

演 台

当 局

当 局

議会事務局

速記者

事務局長

議 長

市 長

副市長

副市長

当 局

当 局

《次回の定例会は三月開催予定です》